



朝日新聞社「かがみよかがみ」



明治大学ジェンダーセンター

コロナ禍で感じたジェンダーギャップ —大学生は何を感じたか—

11/17 (火) 18:30~20:00

参加費無料

事前申込

(先着 20 名)

〈主催〉

明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター

<https://www.meiji.ac.jp/infocom/gender/>

朝日新聞社
「かがみよかがみ」編集長
伊藤あかり氏



2009年朝日新聞社入社。
奈良、徳島で記者、大阪で紙面編集を経験。
社内の新規事業コンテストに応募し、
19年8月にサイトを立ち上げ、編集長に。

コロナ禍で改めてジェンダーギャップが表出。化粧の有無や服装について言及されるリモートセクハラ、ステイホーム期間中の配偶者からのDV、10代の望まない妊娠、と様々あります。では、大学生はどうなのか。朝日新聞社「かがみよかがみ」の伊藤あかり編集長を招き、コロナについて書かれたエッセイを紹介してもらい、同世代がコロナ禍で感じている思いを共有します。オンラインで集まった明大生同士で、最近強く感じるジェンダーギャップや大学生としてコロナ禍で感じたことについて、ブレイクアウトルーム機能を使い少人数で話し合います。

「かがみよかがみ」とは？

朝日新聞社が運営する、10代後半から20代後半女性をターゲットにしたWEBメディア。

サイトコンセプトは

「私のコンプレックスを、私のアドバンテージにする」

コンプレックスをテーマにしたエッセイ、インタビュー、コラムを提供している。

学生からの言葉

コロナ禍で溜まるストレスに、先の見えない不安。
軽重は人それぞれでも、皆抱えているものだと思います。私も同じです。
「会の終了後、少しでも心のモヤモヤが晴れますように」
そんな想いが開催のきっかけです。
かしこまった感じではなく、気軽に参加してもらえれば嬉しいです。



文学部4年・谷口夏乃

タイムテーブル

18:30—18:40	自己紹介
18:40—18:50	コロナ関連で書かれたエッセイ紹介
18:50—19:00	コロナ禍のジェンダーギャップが表出したニュース紹介
19:00—19:30	「コロナで気になったこと」をテーマに班ごとに話し合い
19:30—19:50	話し合いの発表と共有、伊藤編集長からアドバイス
19:50—20:00	総括

10/26 (月)
開始予定



Oh-o! Meiji にて申込⇒

問い合わせ

明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター

gender@meiji.ac.jp

コロナ禍で感じたジェンダーギャップ

—大学生は何を感じたか—